

## J-PARCにおける高温高圧中性子散乱ビームラインの建設

## Construction of high pressure dedicated beamline at J-PARC

# 内海 渉 [1]; 服部 高典 [2]; 有馬 寛 [3]; 小松 一生 [3]; 阿部 淳 [2]; 鍵 裕之 [3]; 八木 健彦 [4]

# Wataru Utsumi[1]; Takanori Hattori[2]; Hiroshi Arima[3]; Kazuki Komatsu[3]; Jun Abe[2]; Hiroyuki Kagi[3]; Takehiko Yagi[4]

[1] 原子力機構 量子ビーム; [2] 原子力機構; [3] 東大院・理・地殻化学; [4] 東大・物性研

[1] JAEA; [2] JAEA; [3] Geochem. Lab., Grad. School Sci. Univ. Tokyo; [4] Inst. Solid State Phys, Univ. Tokyo

J-PARC が平成 20 年度より稼動を開始し、世界最高レベルのパルス中性子を供給する物質・生命科学実験 (MLF) における共用運転も 12 月より開始された。今後、地球惑星科学研究における強力なツールになるものと期待され、運用を開始した粉末中性子回折ビームラインに高圧発生装置を持ち込んで、試験的な実験も開始されている。

高圧研究の専用ビームラインに関しては、科研費新学術領域研究 (高温高圧中性子実験で拓く地球の物質科学: 領域代表 八木健彦) が採択され、平成 21 年度からその建設が開始されることが決まった。本ビームラインの概要ならびにスケジュールについて報告する。